



IoT委員会特別賞
セフテック株式会社

「MSS 渋滞監視システム」

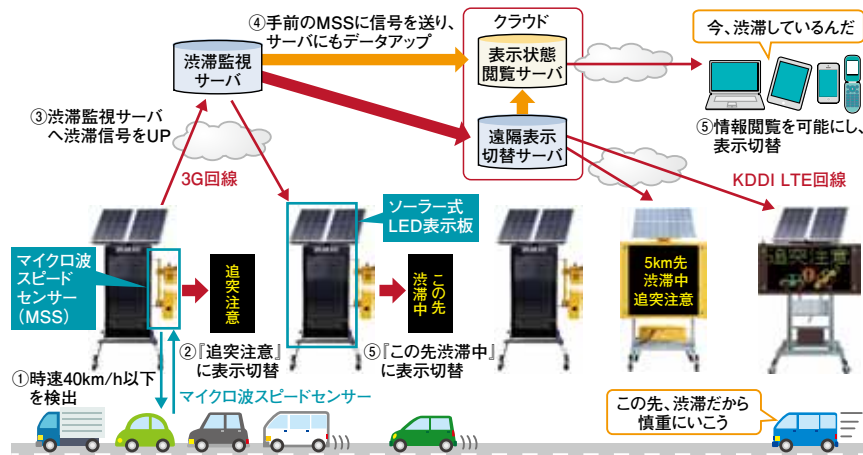
高速道路の渋滞を素早く伝え、事故を軽減

普段は渋滞が起きにくい高速道路で工事による渋滞が発生すると、不慣れなドライバーが渋滞の末尾で事故を起こしやすい。

セフテックでは、渋滞を捉え、数キロ手前を走るドライバーに「前方に渋滞が発生している」ことを知らせる、移動可能なIoTシステムを提供している。

工事近辺にモバイルカメラ付きスピードセンサー（MSS）と低消費電力のソーラー式LED表示板を設置。時速40km以下のスピードで走る車を検出すると、表示板を「追突注意」に変更する。同時に上流のMSSに信号を送り、「この先渋滞中」の表示に切り替える。同時に上流のMSSに信号を送り、「この先渋滞中」の表示に切り替える。同時に上流のMSSに信号を送り、「この先渋滞中」の表示に切り替える。

図 渋滞発生時に後続車に知らせる仕組み



渋滞情報はクラウドサーバにもアップされ、数キロ手前の広域LED表示板に示してドライバーに注意を促す。また、この情報はインターネット経由で各種端末から閲覧できる。

高速道路管理会社の目視による渋滞確認作業を減らしつつ、ドライバーの安全性向上を導いた。